

様式

中小企業信用保険法第2条第6項の規定による認定申請書

令和 年 月 日

関川村長 加藤 弘 殿

住所
氏名
(名称及び代表者の氏名)
電話番号
印

私は、令和二年新型コロナウイルス感染症の発生に起因して、現在、金融取引の正常化のために資金調達が必要となっており、かつ、下記のとおり売上高等も減少しております。こうした事態の発生により、経営の安定に支障が生じておりますことから、中小企業信用保険法第2条第6項の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

1 事業開始年月日 _____ 年 月 日

2 (1) 売上高等
(イ) 最近1か月間の売上高等
減少率 _____ % (実績)

$$\frac{B - A}{B} \times 100$$

A : 信用の収縮の発生における最近1か月間の売上高等 _____ 円

B : Aの期間に対応する前年1か月間の売上高等 _____ 円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み
減少率 _____ % (実績見込み)

$$\frac{(B + D) - (A + C)}{B + D} \times 100$$

C : Aの期間後2か月間の見込み売上高等 _____ 円

D : Cの期間に対応する前年の2か月間の売上高等 _____ 円

3 売上高等が減少し、又は減少すると見込まれる理由

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、危機関連保証の申込みを行うことが必要です。

総 第 _____ 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

認定者名 関川村長 加藤 弘 印

(申請書の添付書類)

売上比較票

申請者名： _____ 印

(表1：最近1カ月の売上高)

| | |
|----------------------|---|
| 最近1カ月の売上高【A】 | 円 |
| Aの期間に対応する前年同期の売上高【B】 | 円 |

(表2：最近3か月の前年同期の売上高【B】)

| | |
|----------------------|---|
| Aの期間後2か月間の見込み売上高【C】 | 円 |
| Cの期間に対応する前年同期の売上高【D】 | 円 |
| 最近3か月の見込み売上高【A+C】 | 円 |
| 同期間における前年同期の売上高【B+D】 | 円 |

(最近3か月の企業全体の売上高の減少率)

$$\frac{【B+D】 \text{円} - 【A+C】 \text{円}}{【B+D】 \text{円}} \times 100 = \text{ \%}$$

上記のとおり売上を確認し、相違ありません。

また、改めて疎明資料の提出を村から求められた場合は、提出に応じます。

記入例

様式第4

中小企業信用保険法第2条第6項の規定による認定申請書

令和〇年〇月〇日

関川村長 加藤 弘 殿

申請者 住所 関川村大字下関912番地
氏名 株式会社〇〇〇〇 印
(名称及び代表者の氏名) 代表取締役 関川 太郎
電話番号

私は、令和二年新型コロナウイルス感染症の発生に起因して、現在、金融取引の正常化のために資金調達が必要となっており、かつ、下記のとおり売上高等も減少しております。こうした事態の発生により、経営の安定に支障が生じておりますことから、中小企業信用保険 法人成立の年月日、または開業日を

ご記入ください。

1 事業開始年月日 昭和〇〇年〇月〇日

2 (1) 売上高等
(イ) 最近1か月間の売上高等

減少率 〇〇,〇〇 % (実績)

$$\frac{B-A}{B} \times 100$$

A : 信用の収縮の発生における最近1か月間の売上高等

〇,〇〇〇,〇〇〇円

B : Aの期間に対応する前年1か月間の売上高等

〇,〇〇〇,〇〇〇円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

減少率 〇〇,〇〇 % (実績見込み)

$$\frac{(B+D)-(A+C)}{B+D} \times 100$$

C : Aの期間後2か月間の見込み売上高等

〇,〇〇〇,〇〇〇円

D : Cの期間に対応する前年の2か月間の売上高等

〇,〇〇〇,〇〇〇円

3 売上高等が減少し、又は減少すると見込まれる理由

新型コロナウイルス感染症により取引先からの受注が急減しており、前年度同期よりも売り上げが減少することがみこまれるため。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長が、申請期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、なぜ売上が減少するのかの理由を必ず記入ください。

総 第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

認定者名 関川村長

印

(申請書の添付書類)

売上比較票

申請者名： 株式会社〇〇〇〇 印

(表1：最近1カ月の売上高)

| | |
|----------------------|------------|
| 最近1カ月の売上高【A】 | 〇,〇〇〇,〇〇〇円 |
| Aの期間に対応する前年同期の売上高【B】 | 〇,〇〇〇,〇〇〇円 |

(表2：最近3か月の前年同期の売上高【B】)

| | |
|----------------------|------------|
| Aの期間後2か月間の見込み売上高【C】 | 〇,〇〇〇,〇〇〇円 |
| Cの期間に対応する前年同期の売上高【D】 | 〇,〇〇〇,〇〇〇円 |
| 最近3か月の見込み売上高【A+C】 | 〇,〇〇〇,〇〇〇円 |
| 同期間における前年同期の売上高【B+D】 | 〇,〇〇〇,〇〇〇円 |

(最近3か月の企業全体の売上高の減少率)

$$\frac{【B+D】 〇,〇〇〇,〇〇〇円 - 【A+C】 〇,〇〇〇,〇〇〇円}{【B+D】 〇,〇〇〇,〇〇〇円} \times 100 = 〇〇.〇〇\%$$

上記のとおり売上を確認し、相違ありません。

また、改めて疎明資料の提出を村から求められた場合は、提出に応じます。